

航空機関連 狙え、300兆円市場

都内中小参入の現状・課題

全国から137社参加

まんてんプロジェクト（横浜市神奈川区）は03年9月、神奈川県異業種グループ連絡会議（横浜市中区）が中心となり発

足した航空宇宙関連部品を開発・製造するための航空宇宙関連部品調達支援コンソーシアムだ。東

京や神奈川を中心に全国から137社が参加し、現在、JASPAが運営法人となっている。

6月に開かれたパリ国際航空ショーでは宇宙航空研究開発機構（JAXA）の出展ブースを借り、参加企業の3社が断

り、海外メーカー10社ほどから引き合いがきた。同じ6月に発足した東京の航空機関連産業等研究会の委員を務める千田泰弘JASPA取締役は、「海外のメーカーは高い技術力や製品を世界中で探している。出展機会を得たことで中小の商機は広がる」と語る。

米社と太いパイプがある。目下の目標は機体を接合する航空機用ネジを売り込むことだ」と意気込む。

まず実績づくり

他自治体の動きも活発化している。11月中旬、栃

木県は17企業・団体が参加する航空宇宙産業

会を発足した。自動車産

業の次に来る、期待の産

業として注目している。

ただ中小企業にとって航空機産業は自治体の施策に乗った程度で参入できるほど甘くはない。米

国の領空で機体を飛ばすためのには米連邦航空局

（FAA）の、欧州ならば欧州航空安全庁（EASA）の認定制度をパス

しなければならぬ。機

体を構成する部品の素

材、品質、すべてに厳し

い基準が設けられてい

る。認定を受けるまでの

時間もかかる。結果的に

うのが現実だ。

ルなどを展示した。後

してはいる。

OWOは28日に熱処理

などの工程や品質保証ま

でを含めた完成品の一貫

生産を目的とした新会社

「オー・ワイ・コープ」

を設立する。コア企業で

ある田中（大阪市住吉

区）の田中弘一会長は、

「当社には10年以上も前

から独自で開拓した米ボ

ーイングとの太いパイプ

がある。目下の目標は機

体を接合する航空機用ネ

ジを売り込むことだ」と

意気込む。

まず実績づくり

他自治体の動きも活発

化している。11月中旬、栃

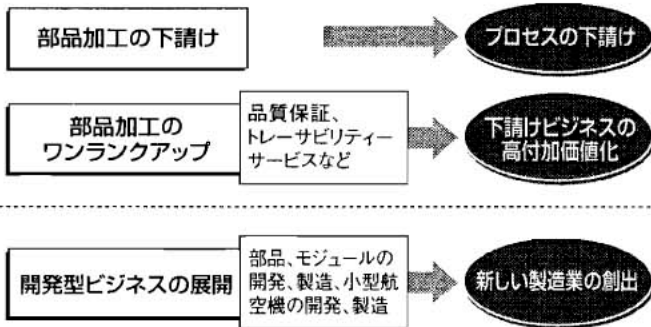
木県は17企業・団体が参加する航空宇宙産業

会を発足した。自動車産

業の次に来る、期待の産

中小企業の航空関連産業のビジネスチャンスイメージ

部品数100万-200万/機（自動車だと一般に4万-5万/台）



まんてんプロジェクト資料より

自治体率先取引を後押し

熱材料やアルミニウム合金を使って高い精密加工で発足。現在30社が参加

振興を目的とした「とち

業の次に来る、期待の産

業として注目している。

ただ中小企業にとって航空機産業は自治体の施策に乗った程度で参入

できるほど甘くはない。米

国の領空で機体を飛ばす

ためのには米連邦航空局

（FAA）の、欧州ならば

航空機参入メモ

中小各社にとって品質管理システムを取得する段階での一つのポイントとして、精密加工職人の納得を得る手順がある。とりわけ航空機分野では、トレーサビリティや品質保証などさらに厳しい認証取得だけに、相当な覚悟が必要だ。「職人は作業ノウハウをすべて公にすることを嫌う。文書化の際はケンカが絶えなかった」と塩野製作所（東京都羽村市）の塩野博万社長は語る。

世界中から優れたパートナー企業を探しているIHIの西出重人航空宇宙事業本部事業開発部長は、「加工の仕方についてのやりとり、納期、輸送コストを考えると国内企業であればベスト」との認識を示す。参入済みの東成エレクトロニクス（東京都瑞穂町）の上野保社長は「コンサルタントの確保とネットワークづくり支援を行うことが大事だ」と、東京都の支援策に対し提言している。

航空機部品産業を地域活性化のための商機ととらえ、取引あっせんなどの面で後押ししてきた自治体がある。成功事例として挙げられるのが神奈川県、大阪府などだ。